

ヨコハマR委員会 第8回全体会議

日時：平成26年7月2日(水)

15:00~16:50

場所：松村ビル別館5階502会議室

1 あいさつ

(委員長)

市民・事業者の皆様方の目線が一同に介して知恵を出し合い、発生抑制につながる議論ができる場というのは、他の自治体でもなかなか少ない。その中でこの委員会は重要な意味を持っている。

今年度も市民・事業者の皆様にご協力を得て、少しでも市民・事業者にとって持続可能なしくみになるようなヒントが出てくると良いと思うので、引き続きご協力をお願いしたい。

(資源循環局長)

今年の4月から、3R夢プランの第2期推進計画がスタートした。今年は「ごみと資源の総量を平成21年度比、3.5%以上削減する」ことを目標とし、生ごみ・プラスチック類、古紙の削減に重点を置き、リデュース・リユースの取組を進めるとともに、分別リサイクルの徹底を図るなど、更なる3Rを推進していく。

これまで、委員会に寄せられた提案をもとに具体化した取組の拡がりにより、3R行動が市民・事業者の皆様にも浸透してきたが、さらにリデュース行動を推進していく必要がある。

今年度は、「食品ロス」の削減も施策の重点として取り組んでいく。委員の皆様にも市民・事業者の立場から、どのような取組が効果的か幅広くご検討いただきたい。

2 委員紹介

別紙名簿のとおり委員の紹介

3 議事

(1) 平成26年度の活動について

事務局から資料1、2のとおり説明があり、委員会の活動概要を了承。検討会議は提案が寄せられた場合に開催、全体会議は年2回開催。

委員長：今年度は特に、「リデュース」の基本に立ち戻って、どのように取組を推進していくか等、各委員間で情報共有を行うことに重点を置いている。本日も、委員からの活動紹介があると思うので、ぜひ活発な情報交換をお願いしたい。

(2) 報告事項

- ・「マイボトルスポット」の取組状況について（資料3、4、5のとおり報告）
- ・「割り箸等削減キャンペーン」について（資料6のとおり報告）
「キャンペーン」の実施結果について、委員より補足説明
- ・「食品ロス」の削減啓発映像について（資料7のとおり報告）

(報告事項に関する質疑応答)

委員：「食品ロス」削減の啓発映像については、英語が使われていることで分かりにくいという意見があったが、イラストを多く用いて、日本語の補足を加えたかたちで制作し、プロジェクト内で了承したうえで、完成した。

委員長：英語表記で仕上がっている良さもあると思う。「リデュース (REDUCE)」という言葉も英語であるし、映像を見ることで、覚えることができる。また、横浜は国際都市でもあるので、広く活用できることもあると思う。

事務局：各収集事務所や各区役所において、小・中学校、高校、大学に出向いて啓発を行っている。各学校において、このDVDを流し、職員が説明を加えながら、学習に使用していきたいと考えている。働きかけの切り口を変えて普及を進めていきたい。

また、地域へも動画を直接お見せして啓発していくことは非常に効果的だと考えている。

委員：各講演の場でも活用していく中で、どのようなアプローチ法が効果的か考えていきたいと思う。

委員長：「割り箸等削減キャンペーン」は、良い取組だと思うので、今回の具体的な効果や再検討する点もふまえながら、ぜひ継続的に進めていただきたい。

(3) 委員による活動紹介

- ・横浜十店会（株式会社丸井様）の活動について（資料8のとおり紹介）

(活動紹介に関する質疑応答)

委員：他の店舗でも取組を実施しているのか。

委員：全店で行っている。「婦人靴の下取りチャリティー」は、一部の店舗で実施している。

委員長：資源の循環や、支援に活用できない商品は、どのように対応しているのか。

委員：お預かりした後に、活用できないと判断したものは、最終的にエタノールの資源として活用できるよう循環を図っている。

委員長：とても良い取組だと思うので、今後もこの委員会の中で継続的に取組の報告いただけると良いと思う。

(4) 検討会議の報告について

- ・26-A1 寄せられた提案・意見について（資料9、10のとおり報告）

(検討会議の報告に関する質疑応答)

委員：現在、スーパー等でも簡易包装が進んでいるが、現状としてどのような販売方法があるのか。

委員：バラ売りで販売しているものも多くあるが、フードパックが使用されている場合もまだまだ多くある。

委員長：画期的に技術革新もされていて、環境に負荷のない包装も開発されていると思うがどうか。

委員：トレーやポリ袋の材質や軽量化の動きが進んでいる。トレー等には品質保持や商品を入れるなどの一定の役割があるが、その中でどう減らしていくかが焦点である。

委員長：法律に基づくことや消費者のニーズもあり、軽量化が進む中で、容器包装の役割も果たすこともあって、ずいぶん開発が進んでいる。このような現状を消費者にも分かりやすく提供できると良いと思う。さらに、取組がうまく進むように、消費者がどのような選択をすると良いのか等、消費者と事業者の双方が分かるように伝えていけると良いと思う。

委員：リデュースやリサイクルの取組をどのように進めているか等、環境に配慮した取組の事例集を各事業者が出している。

委員長：今後また本件については、容器包装の観点で、委員会の会議の中で委員の皆様から良い情報提供、情報交換をしていただけると良いと思う。

4 情報提供 等

- ・「ヨコハマ3R夢プラン」第2期推進計画について
（資源政策課より別冊のとおり説明）
- ・6月の環境月間の取組について（資料11、12、13のとおり説明）
- ・エコ・クッキング講座の開催報告について（資料14のとおり報告）

(情報提供等に関する質疑応答)

委員：「ヨコハマ3R夢プラン」の概要版は、どこでどのように配布されているのか。市内の子育て支援拠点や子育てひろばの中で、乳幼児の親子にこのような情報をぜひ広めていきたい。

事務局：概要版は、各区の環境事業推進委員に配布しており、内容をご理解いただいた上で、地域で広めていただくようお願いしている。また、各収集事務所及び各区役所にも配布している。

事務局：各収集事務所では、保育園・幼稚園等に出向いて、人形劇や紙芝居、ゲーム等を取り入れた啓発を行っている。子育て支援拠点にもお伺いすることがで

きるので、収集事務所あてご連絡いただければ、直接職員が出向いて説明することができる。

委員：環境関係の団体の勉強会等でも、内容の説明に来ていただけるのか。

事務局：ご連絡いただければ、職員が直接出向いて説明させていただく。

5 その他

6 閉会あいさつ

（企画調整担当部長）

本委員会は、市民・事業者・行政の三者で特に「リデュース」をどのように推進していくか、各立場から知恵を出し合っていただく組織だが、今回の会議では、各委員からご意見をいただいた。

今後も、この委員会の場を活用して、いろいろなかたちで、取組にご協力いただきたい。

第8回

リデュース ヨコハマ R 委員会 全体会議

日時：平成26年7月2日（水）

午後3時から

場所：松村ビル別館5階 502会議室

次 第

- 1 あいさつ
- 2 委員紹介 【委員名簿】
- 3 議事
 - (1) 平成26年度の活動について 【資料1、2】
 - (2) 報告事項
 - ・「マイボトルスポット」の取組状況について 【資料3、4、5】
 - ・「割り箸等削減キャンペーン」について 【資料6】
 - ・「食品ロス」の削減啓発映像について 【資料7】
 - (3) 委員による活動紹介
 - ・横浜十店会
(株式会社 丸井様の活動紹介) 【資料8】
 - (4) 検討会議の報告について
 - ・26-A1 寄せられた提案・意見について 【資料9、10】
- 4 情報提供 等
 - ・「ヨコハマ3R夢プラン」第2期推進計画について 【別冊資料】
 - ・6月の環境月間の取組について 【資料11、12、13】
 - ・エコ・クッキング講座の開催報告について 【資料14】
- 5 その他
- 6 閉会あいさつ

リデュース
ヨコハマ R 委員会 平成26年度の活動について

1 活動概要

- (1) 委員会に寄せられた新たな取組提案の実現に向け、必要とされる支援の検討やノウハウの提供等の支援を行う。
- (2) 支援を行った各取組の成果について、市民・事業者・行政の立場から検証を行う。
- (3) 寄せられた提案を基に、特に推進していくべき取組についてはさらなる展開を図る。
(回数の増、場所の拡大、内容の拡充 等)
- (4) 支援した取組やリデュースに関する広報活動の検討を行い、効果的な情報発信ができるようにする。
- (5) 必要に応じてプロジェクトチームをつくり、効率的に調査・検討を行う。
- (6) 各委員の活動や、各地域・各業界のリデュースの取組等について情報交換を行い、相互理解を深める。
- (7) 委員が所属する組織の構成委員に対し、取組の支援協力について呼びかけたり、ヨコハマRひろばおよびヨコハマR委員会の活動について情報発信を行う。

2 年間スケジュール (予定)

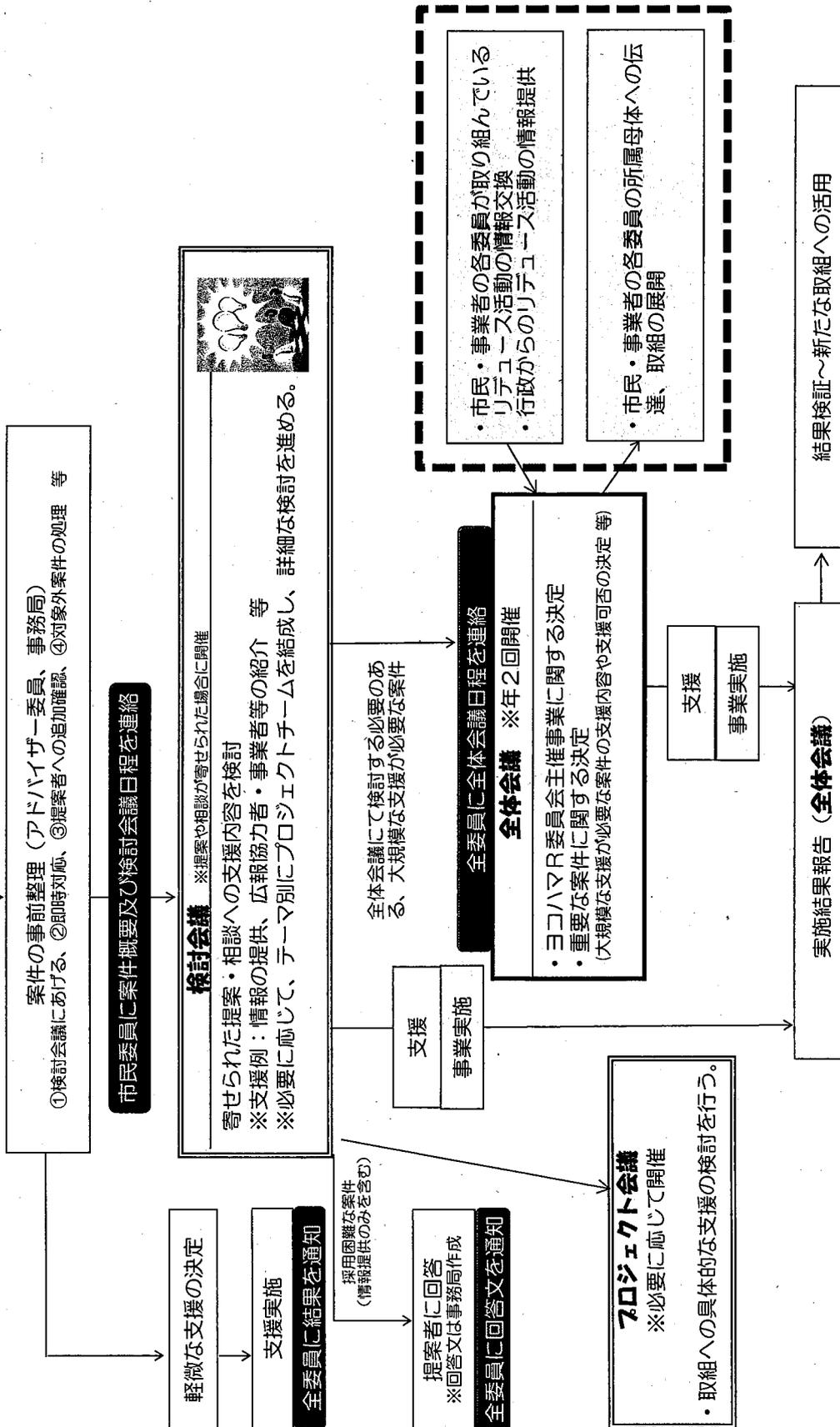
- ・ 検討会議開催 (提案が寄せられた場合に、随時開催)
※必要に応じてプロジェクト会議や勉強会、見学会などを実施。
- ・ 全体会議開催 (年2回)
(委員交代の確認、本年度の活動検討、支援案件の報告 等)

平成26年度 「ヨコハマR委員会」 概要（提案等の取扱フロー図）

平成26年度の拡充内容



提案・相談



「マイボトルスポット」の取組状況について

1 趣旨

平成 22 年 10 月に取組を開始した「マイボトルスポット」について、これまで公共施設、チェーン系カフェ、民間施設など徐々に登録数を増やしてきましたが、現在の取組状況について報告します。

2 マイボトルスポット設置状況

平成 25 年 2 月 13 日時点				平成 26 年 7 月 2 日現在			
施設等	カフェ	コンビニ	合計	施設等	カフェ	コンビニ	合計
102	87	89	278	125	101	89	315

3 現在の取組状況

(1) 公共施設等

・市内全 18 区中、給水設備のある区庁舎 10 区が、平成 26 年 1 月 15 日に登録をしました。その他、各地区センター、スポーツセンターについても、順次登録拡大に向けて調整中です。

(2) カフェ等

・チェーン系カフェの新たな企業として、「カフェ・ド・クリエ」の市内 11 店舗が 7 月 2 日付けで登録となりました。

4 広報について

(1) ウェブサイト

・「ヨコハマRひろば」ウェブサイト内、「マイボトルスポット」の取組ページを、各スポットが検索しやすくなるよう、改修を行いました。

(2) 印刷物

・平成 25 年 4 月に発行したチラシを改訂して、持ち歩きにも使用できるポケット型のマップを作成中です。8 月上旬の完成を予定しており、完成後は、各登録施設、各区役所等に配架予定です。

5 今年度の取組について

・マイボトルの利用を呼びかけるための新たなイベントとして、マイボトルスポットに登録されている「山手西洋館」でのウォークラリーを開催します。

(1) 開催日時

平成 26 年 11 月 15 日（土）、16 日（日）
両日とも 9 時 30 分～15 時（最終受付は 12 時）

(2) 開催場所

山手西洋館のうち、「マイボトルスポット」に登録している全 7 館
(山手 111 番館、横浜市イギリス館、山手 234 番館、エリスマン邸、
ベーリック・ホール、外交官の家、ブラフ 18 番館)

横浜らしく、かっこよく、「もったいない」を楽しもう。

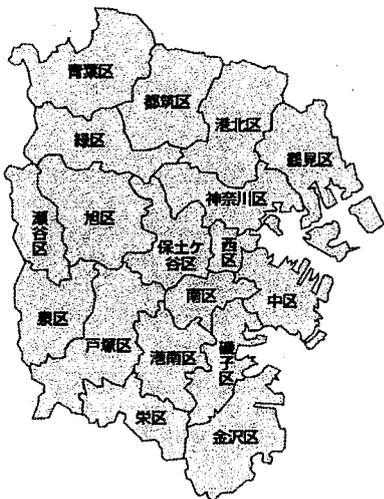
[ホーム](#) |
 [「ヨコハマRひろば」とは?](#) |
 [「リデュース」って何?](#) |
 [取組紹介](#) |
 [イベント](#) |
 [3Rパートナー登録](#)

トップ > 取組紹介 > マイボトル・マイカップ > マイボトルスポット > マイボトルスポット検索

マイボトルスポット詳細検索

地図から検索

地図または右のリストをクリックすると、地図上にマイボトルスポットを表示します。



- 横浜市全域
- 鶴見区
- 神奈川区
- 西区
- 中区
- 南区
- 港南区
- 保土ヶ谷区
- 旭区
- 磯子区
- 金沢区
- 港北区
- 緑区
- 青葉区
- 都筑区
- 戸塚区
- 栄区
- 泉区
- 瀬谷区

情報から検索

名称や提供メニューの種類などを入力して「検索開始」ボタンを押してください。該当するマイボトルスポットのリストを表示します。

検索開始

名称検索

名称を入力して下さい。一部分を入力するだけでも検索できます。さらに下の「無料提供メニュー」「有料提供メニュー」「種別」「地域」で検索範囲を絞り込むこともできます。

無料提供メニュー(複数選択可)

お水 お湯 お茶 その他

有料提供メニュー(複数選択可)

コーヒー等 お茶 その他ソフトドリンク等

種別(複数選択可)

コンビニエンスストア チェーン系カフェ
 公共施設 販売店等その他

地域(複数選択可)

鶴見区 神奈川区 西区 中区
 南区 港南区 保土ヶ谷区 旭区
 磯子区 金沢区 港北区 緑区
 青葉区 都筑区 戸塚区 栄区
 泉区 瀬谷区

検索開始

[プライバシーポリシー](#) | [サイトマップ](#)

横浜市資源循環課 3R推進課
 電話: 045-671-3593 / FAX: 045-663-5834
 ©2010 City of Yokohama. All rights reserved

カフェ・ド・クリエが「マイボトルスポット」に登録！ 登録数が300か所を突破！

平成 22 年 10 月にスタートした「マイボトルスポット」。徐々に数を増やし、この7月に、株式会社ポッカクリエイトが展開する「カフェ・ド・クリエ」市内 11 店舗が、「マイボトルスポット」に登録！登録数が 300 か所を超えました。

今後も、マイボトルがより便利に使える街になるよう、登録数を増やしていきます。

「マイボトルスポット」とは？

飲み物を、持参したマイボトルに入れて販売・提供する店舗等のことで、横浜市独自の名称です。

店舗においてマイボトルでのコーヒー等のテイクアウトや、施設等でのお水の無料サービスなど、有償無償を問わず、マイボトルに飲料を提供するスポットです。



マイボトルスポット
マーク

※「マイボトルスポット」概要：<http://www.r-hiroba.jp/torikumi/bottlespot.html>

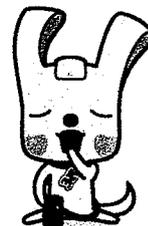
カフェ・ド・クリエ

株式会社ポッカクリエイトが展開するカフェブランドです。
カフェ・ド・クリエは「いっぱいのおあわせ」からはじまる「たくさんのおあわせ」をブランドコンセプトとし、そのお店づくりは、落ち着きのある内装、居心地感はもちろん機能性を備えた椅子やテーブルを配置しています。

商品は、こだわりのコーヒーや、ヨーロピアンテイストをコンセプトにしたオリジナルデザートやフードを取り揃えて「くつろぎの時間」を演出します。



- 1 登録年月日
平成 26 年 7 月 2 日（水）
- 2 登録店舗数
市内 11 店舗（店舗の詳細は、裏面をご覧ください。）
- 3 サービス内容
持参したタンブラーやマイボトルにコーヒー等の販売・提供
※タンブラーやマイボトルの持参で、販売価格が **30 円引き**になります。
（割引対象は、テイクアウトのみ。イートインの場合は通常価格になります。）



「ヨコハマ3R夢(スリム)！」
マスコット イーオ

登録店舗一覧（平成26年7月2日現在）

鶴見区	大黒パーキングエリア店	鶴見区大黒ふ頭 15 首都高速道路大黒パーキングエリア3F
神奈川区	大口店	神奈川区大口通 137-6 石渡ビル1F
西区	クイーンズスクエア横浜店	西区みなとみらい 2-3 クイーンズスクエア横浜クイーンモール1F
	横浜国際ホテル店	西区南幸 2-16-28 横浜国際ホテル1F
中区	馬車道店	中区尾上町 5-71 横浜シティタワー馬車道1F
	桜木町店	中区桜木町 1-1 富士ソフトABCビル2F
港南区	上大岡ミオカ店	港南区上大岡西 1-18-3 ミオカリスト館3F
保土ヶ谷区	保土ヶ谷駅ビル店	保土ヶ谷区岩井町 1-7 保土ヶ谷駅ビルアーバン内3F
港北区	新横浜国際ホテル店	港北区新横浜 3-18-1 新横浜国際ホテル1F
	日吉東急店	港北区日吉 2-1-1 日吉東急南館3F
都筑区	カフェ・ド・クリエプラス ノースポートモール店	都筑区中川中央 1-25-1 ノースポートモール4F

詳しくは、<http://www.pokkacreate.co.jp/shops/search/1> を参照してください。



お問合せ先
「マイボトルスポット」に関すること 資源循環局3R推進課長 河村 義秀 Tel 045-671-2563
「カフェ・ド・クリエ」に関すること 株式会社ポッカクリエイト マーケティング本部 販促宣伝グループ Tel 03-5275-2755

gooo グーツ X ヨコハマ 3R 夢 (スリム) **G30 のぞの先へ ヨコハマ 3R 夢!**

割り箸等 削減キャンペーンを実施します!

現在、横浜市では事業者と連携した様々なごみ削減の取組を行っています。

今回は、昨年度の「マイバッグキャンペーン」に引き続いて、株式会社スリーエフに御協力いただき、「お弁当を食べる時は、お気に入りのマイ箸で!」をテーマに、割り箸等の使い捨て食器類を削減するためのキャンペーンを行います!

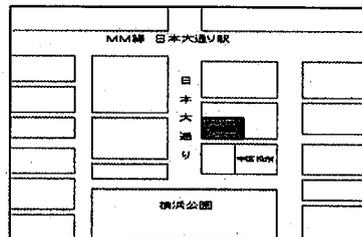
キャンペーン期間

平成 26 年 1 月 22 日 (水) ~ 2 月 28 日 (金)



実施店舗

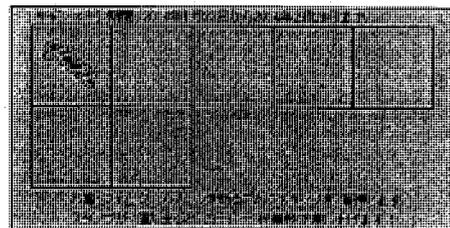
gooo いちよう並木通り店
(横浜市中区日本大通 15 朝日会館ビル 1 階)



キャンペーン内容

キャンペーン期間中、お弁当をご購入のお客様で、割り箸等の使い捨て食器類を不要と言っていただくごとに、キャンペーン用スタンプカードにスタンプを 1 回押印します。

期間中に 7 回、割り箸等をお断りいただくと、gooo コーヒーを 1 杯無料で差し上げます。

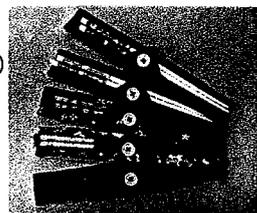


キャンペーン用 スタンプカード



キャンペーン初日にはイーオも登場!
素敵なお箸(布製箸袋つき)を先着 200 名様にプレゼント!

- 平成 26 年 1 月 22 日 (水) 11:45~12:45 (雨天時も実施)
- お弁当をご購入のお客様で、割り箸等の使い捨て食器類を不要と言っていただいた方先着 200 名様を対象



※取材の際は、直接店舗までお越し下さい。

※本件については、株式会社スリーエフとの同時記者発表となります。



お問合せ先

資源循環局 3 R 推進課長 望月 正己 Tel 045-671-2563

ヨコハマR(ひろば)
委員会発!

横浜らしくかっこよくもったいないを楽しもう!

市民・事業者・行政の三者協働による食品ロス削減啓発動画が完成!

日本では、本来まだ食べることができる食品が廃棄されてしまっている、いわゆる「食品ロス」が、年間約 500~800 万トンあると推計されています。

この食品ロスを削減していくために、市民・事業者・行政の三者でごみの発生抑制を推進する「ヨコハマR(リデュース)委員会」の有志委員によって結成した食品ロス削減プロジェクトチームにおいて、約 6 分間の啓発動画を作成しました。

映像の概要

国際都市横浜から日本の「もったいない」精神を世界規模で発信していくため、アートディレクターの芝哲也氏の御協力をいただき、深刻な食品ロスの現状について問題提起を行いながら、「自分でもできそうだ」と思える取組を日本語、英語両方の表記を用いて表現し、ポップで分かりやすい動画としました。



放映場所

平成 26 年 3 月 6 日から、「ヨコハマR(リデュース)ひろば」ウェブサイト等でのオンライン上の配信を始めとして、映画館、駅構内の街頭ビジョン、地下鉄グリーンラインの液晶ビジョンなども用いて(詳細は裏面参照)広くこの動画による啓発を行ってまいります!

映像制作者について *芝 哲也 氏*

アートディレクター。デザイン事務所「Cauz」代表。
カナダでデジタルデザインを学んだ後、広告代理店「BLAST RADIUS」に所属して、デザイン、プランニングに携わる。
帰国後、デザイン事務所「NOSIGNER」に所属し、キャリアを積み、2011年、デザイン事務所「Cauz」を設立し独立。



著書:「アイデアが出なくてももう無理!」と思ったら読む本 ニューロン発想法

(裏面あり)

啓発動画を用いた今後の広報

- 1 「ヨコハマRひろば」ウェブサイト
場所：「ヨコハマRひろば」ウェブサイト上
(<http://www.r-hiroba.jp/>)
期間：3月6日(木)～
内容：「ヨコハマRひろば」ウェブサイト
トップページ右上部での全編再生



トップページイメージ図

- 2 Youtube
場所：Youtube サイト上
全編バージョン (<http://youtu.be/QMs-T11Mn0k>)
15秒バージョン (<http://youtu.be/ft41LH0qaXQ>)
期間：3月6日(木)～
内容：動画サイト「Youtube」におけるストリーミング再生
- 3 イオンシネマ港北ニュータウン及びイオンシネマみなとみらい作品上映前広告
場所：イオンシネマ港北ニュータウン
(市営地下鉄 センター北駅 ノースポートモール内)
イオンシネマみなとみらい
(JR・市営地下鉄 桜木町駅、みなとみらい線みなとみらい駅 ワールドポーターズ内)
期間：3月8日(土)～3月28日(金)
内容：上記2施設で上映する「ドラえもん 新のび太の大魔境」の上映前広告枠での
上映(15秒バージョン)
- 4 みなとみらい線みなとみらい駅 デジタルサイネージ
場所：MM線デジタルサイネージみなとみらい駅
期間：3月10日(月)～3月16日(日)
内容：縦型70インチ液晶ビジョンによる啓発動画の全編放映
- 5 グリーンビジョン
場所：横浜市営地下鉄グリーンライン車両内(15型)
期間：3月18日(火)～3月31日(月) ※調整中
内容：15インチ4:3サイズの液晶ビジョンによる放映
(15秒バージョン)
- 6 その他
その他、市民向け啓発イベントや講習会でも動画を活用していきます。



お問合せ先

資源循環局3R推進課長 望月 正己 Tel 045-671-2563

社会貢献活動

- Power Of Fashion -
お客さまと一緒に取組むファッションを通じた社会貢献

マルイグループは、本業を通じて、地域社会に貢献できるような取組みをお客さまと一緒に取組んでいくことで、よりお役に立つ社会貢献活動をすすめてまいります。

【循環型ファッションの取組み】

日本国内で衣料品がリユース・リサイクルされる割合は3割未満とされています。着なくなった洋服を有効活用したいと思っている方は多くいらっしゃいますが、持っていくところや方法がわからないこともあり、結果的に約7割以上の衣料品が捨てられてしまっているのが現状で、社会的な課題にもなっています。

マルイグループは、ファッションを中心に小売事業を行っている企業の社会的責任として、こうしたお客さまのニーズや社会の課題にお応えするために、お客さまと一緒に取組むファッションを通じた社会貢献として衣料品を再利用する「循環型ファッション」の取組みをすすめています。

「衣料品下取りチャリティー」

循環型消費ファッションの取組みの一環として、2010年より、マルイ各店で「衣料品下取りチャリティー」を開催しています。お客さまが使用しなくなった衣料品をマルイの店舗で1点につき200円の割引券と交換するかたちで下取りし、その後アイテム別に分類し、衣料品の状態やニーズに応じて有効活用しています。



お預かりした衣料品の「4つの有効活用方法」

被災地支援 「商店街復興支援」



・被災地の衣料品店の方々が地元の方々のために再販売し、商店街の復興につなげていきます。

被災地支援 「リメイク雑貨」



・被災地の方々によるリメイク雑貨作りを行いマルイ店舗で販売いたします。

途上国支援

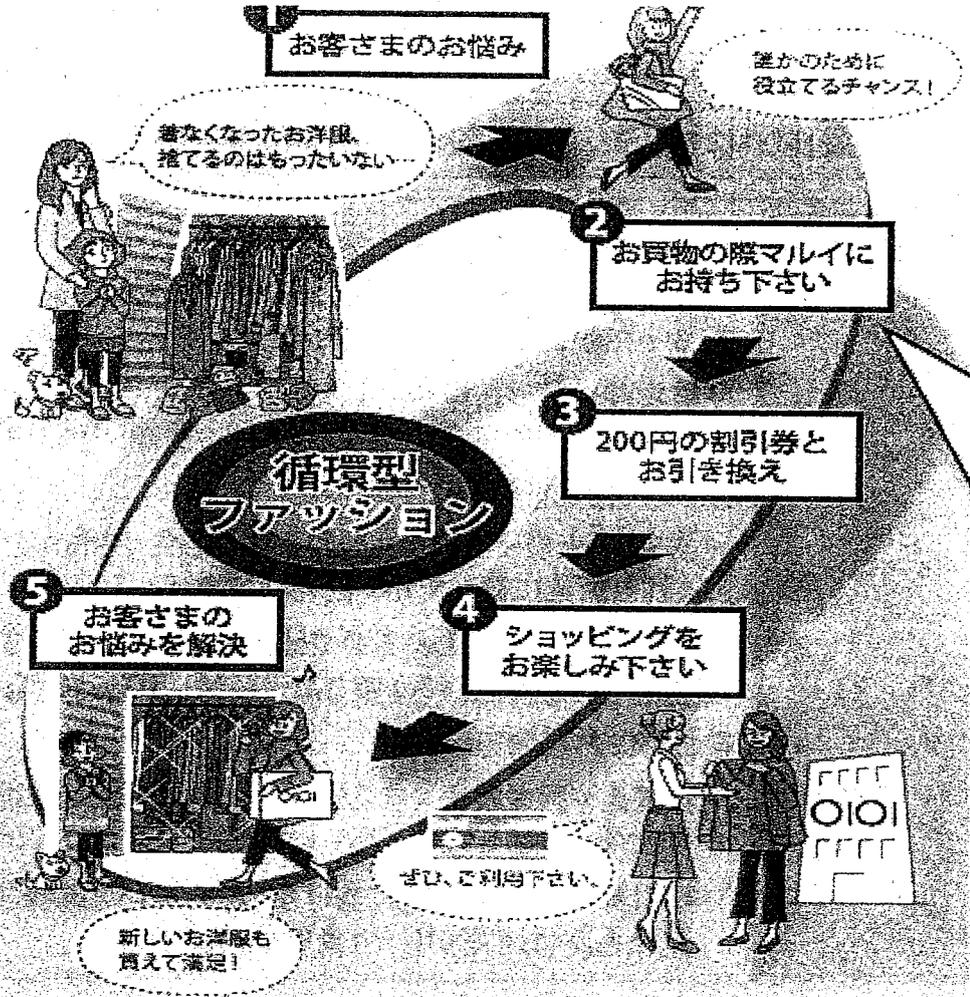


・認定NPO法人日本救済衣料センターを通じて海外の途上国へ寄贈しております。

マルイ店舗販売



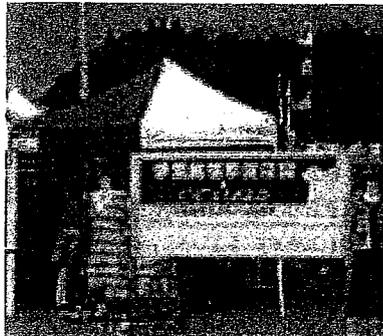
・マルイ店舗内でチャリティーバザーを開催。収益金は全額社会貢献活動を継続する費用に使用いたします。



東北の復興商店街にて販売

宮城県女川町・三陸町の衣料品店で販売。商店街の復興に役立っています。

宮城県の2つの沿岸地域の衣料品店主の方々に販売をしていただくことで、現地の経済復興のお手伝いをさせていただいています。



お客様の声

まだきれいでおしゃれなリユース品がたくさんあって、いつも楽しみにしています。

衣料品店主の方の声

商売が活性化するきっかけになっています！商店街にお客さまが戻ってきてくれて嬉しいです。

マルイ店舗にて販売

マルイ店舗でのチャリティーバザーを開催。収益金は全て社会貢献活動を継続する費用に使用いたします。



リメイク雑貨づくり

被災地の方々によるリメイク雑貨作りを行いマルイ店舗で販売いたします。

途上国支援

認定NPO法人日本救援衣料センターを通じて途上国へ寄贈いたします。

お客様の声

「被災地支援」以外にも、「タンス在庫整理」、「お得に買物」のお客様ニーズが多い



◎被災地のためにお役に立ちたい

- ・被災地のため何かしたいけれど、何をしたらいいかわからなかったが、自分が今、出来るのが気軽に出来る(女性20代)
- ・被災地に行った報告もきちんとしているので安心してお任せしようという気持ちになった。次回も参加したい(女性40代)

◎タンス在庫を整理したい

- ・捨てようと思っていたものが沢山あった。きちんと活用してくれる企業に託したかった(女性20代)
- ・着てない服が沢山あるので助かる。震災に限らず、他にも困っている人はいると思うので継続して(女性50代)

◎お得にお買物をしたい

- ・衣替えで服を整理できるし、クーポンで新しいものも買えて助かる。今後も続けて欲しい(女性30代)
- ・割引券は子供と友達にあげる。使わないと意味ないでしょ！景気もよくならないし・・・(女性50代)

20

社員・スタッフの声

本業の延長線上で被災地のお役に立てる取組みであることを参加者が実感



◎丸井グループの総合力・ノウハウの独自性を実感

- ・設営～接客～撤収まで日頃、売場や催事で慣れているだけあって、他社にはマネが出来ないパワーを感じた(本社・女性)
- ・店頭で洋服をお預かりし、仕分けし、お届けする一連を経験し、「気持ちをお届けする」ことの大事さや嬉しさを学びました(店・男性)

◎ファッションの力の素晴らしさを再認識

- ・単なる衣料品の提供に止まらず、まさに、ファッションを通じて人と人をつなぎ、元気づける取組みだと実感しました(店・女性)
- ・洋服寄贈だけでなくイベント感(わくわく感や楽しさ)も出せて、丸井らしくモノやコトの両面から被災者のお役に立てた(店・男性)

◎日常、何気なく行っている接客業務が被災地でお役に立てた

- ・似合いそうなものを選んで差し上げたり、ご要望に近いものを探すことは、日頃の営業と同じことだと感じました(店・女性)
- ・被災者の方から、「沢山、話させてくれてありがとう」と言われた時、少しでもお役に立てて、良かったと思った(店・女性)

26-A1 寄せられた提案・意見 「投稿原文」

初めまして。

ゴミの減量について、日頃から思っていることを
実現可能かどうかは分かりませんが、投稿いたします。

スーパーで購入する食品の多くが、
ゴミとなる食品トレイを商品の見栄えのために
使っています。

欲しいのは中身の食品なのに、食品トレイを
持ち帰り、また食品トレイを回収しているスーパーへ
また持って行く。(ゴミとなるものを家に持ち帰り、
また持って行っている現状です。)

このシステム・・・変えることは出来ないのでしょうか？

(提案)

1. スーパー内でトレイ分別し、中身だけ持ち帰れる

コーナーを設置する。シンク、分別箱があるといいと思います。

2. お客さまには、事前にマイカゴに空のタッパを持参してもらい、
トレイ分別コーナーで持参のタッパに移し替えて商品だけ持ち帰ってもら
よう、お知らせ・教育する。

3. いきなりは、やっても難しいと思いますので、
事前にご案内をし、試験的に少しのスペースから
やってみるというのは、いかがでしょうか？

便利に慣れている消費者の習慣を変えることは、
なかなか大変だと思うのですが、ご協力してもらえる
スーパーから始めて、徐々に広がっていくと
ゴミの減量が出来るとは思いません。

26-A1 寄せられた提案・意見に対する回答文

このたび、お寄せいただきました「ごみを減らす工夫やアイデア」について、「ヨコハマR（リデュース）委員会」において検討しました結果を、ご報告いたします。

ご提案いただきました内容については、ごみの減量のみならず、食品衛生にも関わる内容ですので、関係部署にも確認をしました。

包装された食品には、消費期限や賞味期限、アレルギー表示など必要な表示がされているため、スーパー等に持参した容器や備え付けのビニール等に詰め替えて持ち帰ると必要な表示が確認できなくなってしまう可能性があります。また、生鮮食品に触れた手から、他の食材等への菌の汚染などが懸念されます。このため、行政からスーパー・小売店等へ詰め替えを推奨することは難しいと考えます。

一方、スーパー等では食品の販売方法が多様化しております。消費者のみなさまが食品トレイの無い商品やばら売り等を購入することで、今後、スーパー等での商品の簡易包装化が広がることにつながると思います。

このたびは、貴重なご意見をいただきまして、ありがとうございました。今後とも、ごみの減量にご理解・ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。



6月環境月間に合わせ市内イオン6店舗にて 簡易包装推進キャンペーンを開催します！！

横浜市とイオン株式会社は、平成 24 年 5 月 9 日に締結した「包括連携協定」に基づき、6月の環境月間に合わせ、簡易包装商品の販売キャンペーンと3R※に関する啓発キャンペーンを市内イオン全6店舗で開催します。

※Reduce(リデュース:発生抑制)、Reuse(リユース:再使用)、Recycle(リサイクル:再生利用)の頭文字をとった循環型社会を構築していくためのキーワードです。



開催日(イオン・横浜市の合同キャンペーン)

6月21日(土) 取材の際は基幹店舗「東神奈川店」(10:00~14:00)へお越しください。
◆イオンの簡易包装商品の販売キャンペーンは6月20日(金)~6月22日(日)に行われます。

開催場所

市内イオン全6店舗
(東神奈川店・駒岡店・横浜新吉田店・本牧店・金沢シーサイド店・天王町店)



内容

1 東神奈川店(キャンペーン基幹店舗:横浜市神奈川区富家町1) 10:00~14:00

- (1) 簡易包装商品の特設ディスプレイコーナー
 - (2) マイバッグの拡販キャンペーン
 - (3) 風呂敷体験教室
 - (4) 啓発パネルの展示・「食品ロス動画」の放映
 - (5) 「ヨコハマ3R夢(スリム)サポーター」の募集
 - (6) 3R夢カー(イーオ等がデザインされた収集車)の展示
- 出展は、(1)(2)(3)を株式会社イオン、(4)(5)(6)を横浜市がそれぞれ行います。



REDUCE
THE FOODLOSS

横浜環境局 資源循環課

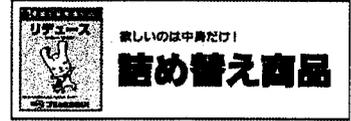


横浜市環境局 資源循環課



2 全店舗共通

- (1) 簡易包装商品の販売コーナーにおける「ヨコハマ3R夢！」マスコットのイーオを使用したポップ類の掲示
- (2) 簡易包装商品の特別販売
- (3) 3Rに関する啓発（アンケート、水切り啓発など）（21日のみ）



◆ ◆ ◆ ◆ ◆ **G30** のその先へ **ヨコハマ3R夢!** スリム ◆ ◆ ◆ ◆ ◆

お問合せ先
資源循環局 3R推進課長 河村 義秀 Tel 045-671-2563

市内ユニー5店舗にてマイバッグキャンペーンを開催しました

平成26年2月20日(木)より、ユニー系スーパーマーケット(アピタ、ピアゴ)が、レジ袋を全店で有料化したことに伴い、ユニー株式会社と本市は、「マイバッグ推進キャンペーン」を6月に行いました。

1 開催場所

市内ユニー5店舗(日吉店、大口店、戸塚店、長津田店、弘明寺店)

2 キャンペーン内容

ユニー株式会社 アンケートへの回答者へのマイバッグ配付

横浜市

ごみ分別啓発ブースの設置、水切り啓発、キャラクターショー、啓発紙芝居

3 当日の様子

(1) 分別啓発ブース



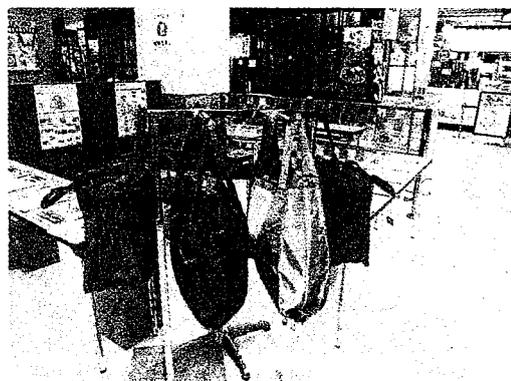
(2) キャラクターショー



(3) 啓発紙芝居



(4) 配付用マイバッグ



平成 26 年 5 月 30 日
温暖化対策統括本部調整課
環境創造局政策課
資源循環局 3 R 推進課

“環境に優しいまち・横浜”の実現に向けて！

～横浜 DeNA ベイスターズの選手が、これからの横浜を思いメッセージを発信します～

横浜市では6月の環境月間にあわせ、環境に優しいまちの実現に向け、環境行動を呼びかけるイベントの開催やポスター掲出による普及啓発を行っています。

今回は、家庭での節電、自然や生きもの大切さ、マイボトルの活用など、誰でも簡単に取り組めることや、あらためて考えてもらいたいこと、実践してもらいたいことについて、横浜 DeNA ベイスターズの3選手（白崎浩之選手・筒香嘉智選手・梶谷隆幸選手）からメッセージをいただきました。

つきましては、上記3選手のポスターの掲出及び音声放送により、広くメッセージを発信し、環境にやさしい行動を呼びかけていきます。

1 ポスターのイメージと呼びかけ内容



環境に優しい電気自動車「チャイモビ」は、見ても乗っても楽しい！
家庭でも無駄な電気は使わない等、みんなでできることから始めましょう。
横浜市温暖化対策統括本部

環境に優しい電気自動車「チャイモビ」は、見ても乗っても楽しい！
家庭でも無駄な電気は使わない等、みんなでできることから始めましょう。

(白崎浩之選手・背番号 29・内野手)

私たちは空気、水、食料、身の周りの多くのものを、自然や生きものからもらっています。
森や海で生きものと触れあい、自然や生きもの大切さを考えてみましょう。

(筒香嘉智選手・背番号 25・内野手)

自然や生きもの大切にしよう！

私たちは空気、水、食料、身の周りの多くのものを、自然や生きものからもらっています。
森や海で生きものと触れあい、自然や生きもの大切さを考えてみましょう。

横浜 DeNA BAYSTARS



マイボトルを持ち歩き、ペットボトルなどの使い捨てを減らしましょう。
横浜 DeNA BAYSTARS

マイボトルを持ち歩き、ペットボトルなどの使い捨てを減らしましょう。

(梶谷隆幸選手・背番号 3・外野手)

区役所等の公共施設や市立学校（小・中・高・特別支援学校）など、約 800 か所にポスターを配布し、啓発を行います。（6月中旬頃）

2 音声について

横浜 DeNA ベイスターズの3選手のメッセージ（音声）を市営地下鉄関内駅などで放送します。

(1) 放送内容の一例

ア 白崎浩之選手

暑くなると、必要以上に室内を冷やしがちになります。熱中症に気を付けながら、服装を工夫するなど、室温は28度を目安に、節電にも心がけましょう。

イ 筒香嘉智選手

美しい緑は横浜の魅力のひとつです。郊外部には、ハイキングを楽しめる森が広がり、中心部には、人を引き付ける魅力的な公園などの緑があります。

「みどり豊かな美しい街・横浜」を子ども達に引き継いでいくため、緑を育てる活動に取り組みましょう。

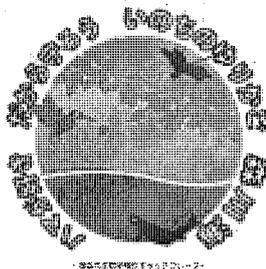
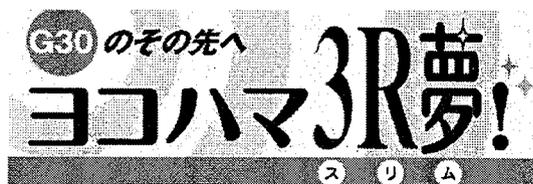
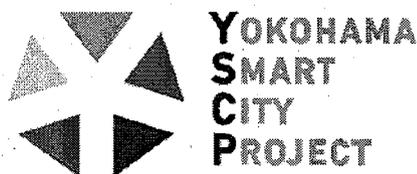
ウ 梶谷隆幸選手

これから暑い夏がやってきますが、こまめな水分補給のためにも、お出かけの際にはお気に入りのマイボトルを持ち歩き、ペットボトルなどの使い捨てを減らしましょう。

(2) 放送予定場所

- ・市営地下鉄関内駅：6月3日～30日 9時～10時、18時～19時
- ・市庁舎：6月2日～30日（開庁日のみ）11時50分頃～（1分程度）など

※ 環境月間とは、1972年6月5日からストックホルムで開催された「国連人間環境会議」を記念して、国連は6月5日を「世界環境デー」とし、わが国でも環境基本法（平成5年）で6月5日を「環境の日」と定め、この日を含む6月を「環境月間」としています。本市としても、この環境月間を機に、市民、企業、学校、行政等があらためて環境問題について一緒に考え、これからの行動につなげていけるよう、環境に関する普及啓発を進めています。



お問合せ先

温暖化対策統括本部調整課長	伊藤 友道	Tel 045-671-4108
環境創造局政策課 環境プロモーション担当課長	遠藤 寛子	Tel 045-671-3830
資源循環局3R推進課長	河村 義秀	Tel 045-671-2563

日時：平成 26 年 6 月 25 日 10:30～13:30

場所：東京ガス横浜ショールーム(MARK IS)

参加者：鶴見区、中区、金沢区、瀬谷区の環境推進委員ほかの皆さま

- 啓発動画上映 -



ヨコハマ R 委員会で作成した「食品ロス削減啓発動画」に続けて、東京ガスの「食」と「環境」に関する座学に真剣に耳を傾ける参加者。

- エコ・クッキング実習 -



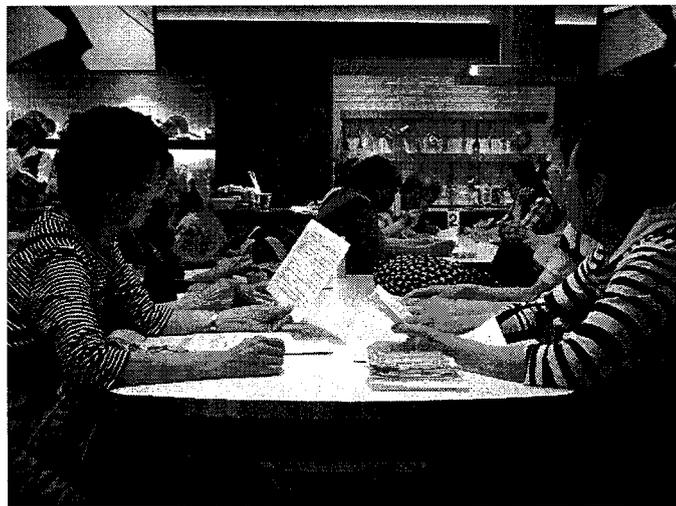
調理講師の実演後、実習へ。ムダ無く効率的な調理をするために、各班一人ひとりが協力していました。

- 実食 -



いざ、実食。メニューは、ドライカレー、卵スープ、オレンジ寒天、ピザ春巻きでした。ドライカレーと卵スープは食べ残しが出ないように、各々が食べられる量を取り分けていました。

- まとめ・反省会 -



食事後には、各班が調理と片づけにどれくらいの水とガスを使ったかがまとめられた表が配られ反省会。節水がうまく出来た班とそうでない班の使用量では 10 倍近くもの差が出ました。